

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●和田竜二騎手がJRA通算1200勝を達成

9月22日(土)の4回阪神6日・第2レースではディープダイバーが1着となり、同馬に騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、史上25人目、現役では13人目となるJRA通算1200勝(1万6519戦目)を達成しました。

●池添謙一騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

9月22日(土)の4回阪神6日・第5レースでメイショウショウブに騎乗した池添謙一騎手(栗東・フリー)は、史上26人目、現役では16人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

●武士沢友治騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

9月23日(祝・日)の4回中山7日・第6レースでカグヤヒメに騎乗した武士沢友治騎手(美浦・フリー)は、史上36人目、現役では24人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●藤岡康太騎手がJRA通算500勝を達成

9月23日(祝・日)の4回阪神7日・第11レースとして行われた神戸新聞杯(GII)ではワグネリアンが1着となり、同馬に騎乗した藤岡康太騎手(栗東・フリー)は、史上97人目、現役では35人目となるJRA通算500勝(6982戦目)を達成しました。なお藤岡康太騎手の兄・佑介騎手も500勝を達成しており、兄弟でのJRA通算500勝達成は、武豊・幸四郎兄弟、吉田豊・隼人兄弟に続く3組目のこととなります。

●松永幹夫調教師がJRA通算300勝を達成

9月23日(祝・日)の4回中山7日・第5レースではウレキサイトが1着となり、同馬を管理する松永幹夫調教師(栗東)は、現役64人目となるJRA通算300勝(延べ3062頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●地元浦和のノブワイルドがオーバルスプリント(浦和)を逃げ切る

テレ玉杯オーバルスプリント(JpnIII、9月24日、浦和、1400m)は、先手を取った4番人気の浦和所属馬ノブワイルド(左海誠二騎手=船橋、牡6歳、父ヴァーミリアン)が、2番人気のオウケンペリーヴを $\frac{3}{4}$ 馬身差で抑えて逃げ切り勝ち。3番人気のネロは5着、ドライヴナイトは6着、単勝1.8倍で断然人気のウインムートは8着に沈んでいます。

●南部杯(盛岡)にゴールドドリーム、ルヴァンスレーヴらが参戦

マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnI、10月8日、盛岡、1600m)は、GI・JpnI4勝馬ゴールドドリームと、古馬と初対戦となるダート3歳王者ルヴァンスレーヴの対決が最大の見どころとなり、以下ノンコノユメ、オールブラッシュ、ベストウオーリア、メイショウウタゲ、ノボバカラの順に有力視されます。

●10月3日の日本テレビ盃(船橋)は今年の1～3着馬の再戦

日本テレビ盃(JpnII、10月3日、船橋、1800m)は、去年は3着だったケイティブレイブが最有力、同2着のサウンドトゥルー、連覇を目指すアポロケンタッキーに、テイエムジンソク、ヒガシウィルウィン(船橋)を加えた5頭による争いとなりそうです。

●ミツバ対3歳馬2頭の構図、10月2日の白山大賞典(金沢)

白山大賞典(JpnIII、10月2日、金沢、2100m)は、JpnIII2勝のミツバに、グリム、ドンフォルティスの重賞タイトルのある3歳馬2頭が挑み、センチュリオン、去年の2着馬カツゲキキトキト(愛知)、マイネルバサラまでが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1コティリオンS～ミッドナイトビスーが繰り上がり優勝

9月22日に米ペンシルベニア州のパークスレーシング競馬場で行われたG1コティリオンS(3歳牝、ダート8.5 $\frac{1}{2}$)は、ケンタッキーオークスを含むG1・4連勝中で、単勝1.5倍の圧倒的な1番人気に推されていたモノモイガールが1位で入線しましたが走行妨害で降着とされ、不利を受けながらクビ差の2位で入線したミッドナイトビスー(牝3歳、父ミッドナイトルート、S.アスムッセン厩舎)が繰り上がりで優勝しました。ミッドナイトビスーはG1サンタアニタオークス(ダート8.5 $\frac{1}{2}$)に続いてのG1・2勝目です。

●G1ペンシルベニアダービー～マッキンジーが復活の勝利

G1コティリオンSの1レース後に同競馬場で行われたG1ペンシルベニアダービー(3歳、ダート9 $\frac{1}{2}$)は先行したマッキンジー(牡3歳、父ストリートセンス、B.パファート厩舎)がG3を連勝して臨んだアクセルロッドの追い上げを1馬身 $\frac{3}{4}$ 差退けて優勝しました。これで繰り上がりで制した2歳12月のG1ロスアラミトスキャッシュコールフューチュリティ(ダート8.5 $\frac{1}{2}$)以来、2度目のG1制覇となったマッキンジーは今年3月10日のG2サンフェリペSで2着(1位入線も走行妨害で降着)に終わった後、脚部不安が出て休養入り。ここは約半年ぶりのレースでした。